

地元産と輸入品のミニトマトで、フードマイレージを比較しよう

期間目安	1日	費用目安	低
研究タイプ	調査	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

地元産のミニトマトと輸入品のミニトマトを比べ、フードマイレージ（食べ物が運ばれてくる距離）の違いを調査します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 輸入品の方が環境への負荷が大きいのではないか

 **ポイント：**予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 産地表示の確認（スーパー等）
- 地図
- ノート
- 電卓

4. 手順

- 産地の違う商品を探し産地を記録する
- 産地から自宅までのおおよその距離を地図で調べる
- フードマイレージの考え方を調べてまとめる
- 結果を比較する

5. 記録シートの例

商品	産地	距離	輸送手段（推測）

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 正確な距離は推定でよいことを明記する
- 資料の出典を明記する

7. まとめ方・考察のポイント

- 地産地消のメリットについて考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：**研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：**なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：**実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：**使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：**記録表、写真、グラフなど
- 考察：**結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：**研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと

8. 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）